

番 号 : 131365

国 名 : ブルンジ

担当部署 : 資金協力業務部実施監理第二課

案件名 : 「ブジュンブラ市内医療設備整備計画」フォローアップ協力（調査）（機材管理計画／積算）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 機材管理計画／積算
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年3月上旬から2014年7月上旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 1.0M/M、現地 0.7M/M、合計1.7M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間 整理期間 国内業務期間
5日 21日 5日 10日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 2月19日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、
または調達部受付 (JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件（業務実施契約単独型のみ）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ）をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事者の経験能力等 :
 - ①類似業務の経験 50点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 10点
 - ③語学力 一点
 - ④その他学位、資格等 20点
- (計100点)

類似業務	医療機材に係る各種調査
対象国／類似地域	ブルンジ／全途上国
語学の種類	—

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：特になし

(2) 必要予防接種：

黄熱：入国に際してイエローカード（黄熱病予防接種証明書）が必要です。

(3) その他：本邦より日本語 - フランス語通訳同行予定

6. 業務の背景

ブルンジでは1993年から2000年まで民族間による内戦が続いたが、2009年に和平プロセスが完了した結果、反政府軍の武装解除・社会帰還を完了し、復興期から開発期への移行を果たした。しかし、約10年間続いた内戦による社会経済への悪影響は大きく、特に母子保健状況は劣悪で、5歳未満児死亡率は出生1000件あたり167（2005年）、また妊産婦死亡率は出生10万件あたり910（2010年）であった。このため、ブルンジ政府は、「ブルンジビジョン2025」、「貧困削減戦略文書(2006-2010)」「国家保健開発計画(2006-2010)」において、母子保健改善を優先課題の一つとして掲げ、2006年には「妊産婦・5歳未満児の診療費を無料とする大統領令」を発布・施行し、母子保健の改善に取り組んできた。

他方、2006年の妊産婦・5歳未満児の診療費の無料化以降、各医療施設における患者数、施設分娩数が急増したため、各医療施設の設備整備と能力強化が緊急の課題となり、ブルンジ政府は2007年にブジュンブラ市内の公立3病院の産科部門及び保健センター9カ所に対する機材整備を我が国に要請した。これを受けJICAは2008年から2009年にかけて基本設計調査を行い、2009年度に無償資金協力「ブジュンブラ市内医療設備整備計画」が実施され、ブジュンブラ市及び近隣州住民に対する母子保健医療サービスの向上を目的とし、以下の医療施設に機材が調達され、2010年4月に完了した。

- ・ブジュンブラ市内の公立3病院
 - プランス・レジャン・シャルル病院（HPRC）
 - クリニック・プランス・ルワガソレ病院（GPLR）
 - カメンゲ大学病院（CHUK）
- ・ブジュンブラ市内の保健センター9カ所
 - カメンゲ、ンガガラ、ブテレレ、ムタクラ、バイザジャベ、ブエンジ、ムサガ、カニョシャ、ルジバ

案件完了後、対象施設において機材は適切に活用され、母子保健の改善に大きく貢献してきたが、2012年12月時点で公立3病院の一部の機材については不具合の発生及びスペアパーツの不足により使用できない状態となっている。修理が必要となっている機材はいずれも使用頻度が高く重要なものであり対応の緊急性が高いことから、フォローアップ協力（以下、F/U協力）による支援が申請された。その後、JICAブルンジフィールドオフィスより保健センターにおいても一部の機材に不具合が生じているため支援が必要との追加要請があった。

申請された内容では、公立3病院及び保健センター9カ所に対し調達した機材のうち使用できないものに対する修理及び大型機材に対するメーカー技術者による研修が想定されている。本フォローアップ調査は、F/U協力実施の妥当性及び必要性、協力内容の確認を目的とし、F/U協力の内容に係る合意文書締結を行うものである。

7. 業務の内容

本業務従事者は、F/U協力事業の仕組み及び手続きを十分に把握の上、以下の事項を担当し、今後F/U協力事業が実施される場合の概略事業費の積算を行い、事業実施の留意点について提言する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2014年3月上旬)

- ①既存資料及び関連情報の収集・分析を行う。特に無償資金協力「ブジュンブラ市内医療設備整備計画」に従事したコンサルタント等関係者へのヒアリングを行う。
- ②メーカー及び現地代理店等の情報を収集する。
- ③調査計画書(案)(和文)及び調査対象施設へ事前に送付する質問票(案)(和文)を作成する。
- ④F/U調査団勉強会及び対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2014年3月中旬～4月上旬)

- ①ブルンジ保健・エイズ対策省、調査対象施設等との打合せに参加する。
- ②他ドナーによる対象施設への支援計画につき内容を確認する。
- ③F/U協力要請の背景・経緯を確認するため、以下の調査を行う。
 - (ア) 対象施設における無償資金協力終了後の実績(分娩数、妊産婦死亡件数、新生児死亡件数等)
 - (イ) 無償資金協力により整備された機材の活用状況及び裨益効果
 - (ウ) 無償資金協力により整備された機材の現状
 - (エ) 無償資金協力により整備された機材のスペアパーツ及び消耗品等の在庫状況
 - (オ) 対象施設の機材引渡後の全体予算(収支)、維持管理予算(収支)の推移
- ④先方の維持管理体制を確認するために以下の調査を行う。
 - (ア) 対象施設の維持管理体制
 - (イ) 無償資金協力により調達された機材の故障・修理履歴
 - (ウ) 医療機材の運営・維持管理に係る将来計画(事業計画予算・要員技術レベル等)
 - (エ) 無償資金協力で調達された機材の代理店の有無及び提供しているサービス内容
- ⑤不具合が生じている機材について、不具合原因を確認し、今後の活用計画・裨益効果を確認する。
- ⑥無償資金協力により整備された機材に対するメーカー技術者による研修の必要性を確認する。
- ⑦F/U協力(案)の内容を以下のとおり検討する。
 - (ア) 修復に必要なスペアパーツ及び部品を特定する。
 - (イ) F/U協力実施に必要な手続き(現地業者との修理契約、現地代理店とのメーカー技術者派遣契約、資機材の通関に必要な措置、関税及び付加価値税等の免税に必要な措置、調達機材の引渡し方法、コンサイニー、シッピングマーク等)を確認する。

⑧F/U協力に関する先方負担事項の確認及び協議議事録(案)(仏文)の作成への協力を行う。当機構ブルンジフィールドオフィス等との打合せに参加する。

(3) 帰国後整理期間(2014年4月上旬)

- ①帰国報告会に参加し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ②調査結果を踏まえたF/U協力計画(案)(和文)を作成する。
- ③担当分野に係るF/U調査報告書(案)(和文)を作成する。
- ④本邦調達、第三国調達の可能性を検証し、適切な調達方法を提案する。
- ⑤概略事業費を算出する。
- ⑥F/U協力の対象となる予定の機材(スペアパーツ、消耗品等)に関し、JICAが指定する入札関連書類(輸送情報シート、機材総合情報シート、仕様書案、参考銘柄情報シート、銘柄指定理由書、機材設置先/用途チェックリスト等)(和文)の作成に協力する。
- ⑦**安全保障輸出管理、EAR、動物検査、植物検査、麻薬取締法、冷凍・冷蔵品、危険物、搭載確認等、輸出・輸送に際し必要とされる法令や規則等に資機材が該当するか確認するとともに、手続きを確認する。**

(4) 国内業務期間(2014年5月～6月)

- ①作成した入札関連書類(案)に関し、JICAが入札図書を作成する段階(2014年5月頃を想定)及び入札公告後の質問受付期間中及び評価段階において(2014年6月頃を想定)に、JICAからの照会や追加情報の提供に協力する。
- ②業務完了時には、本件業務に係る業務完了報告書を作成し、JICA資金協力業務部へ提出・報告する。

8. 成果品等

本契約の各段階において以下の報告書を作成することとし、そのうち(3)を成果品とする。

- (1) 調査計画書(案)(和文)(1部)
 - (2) 担当分野に係るF/U調査報告書(案)(和文)(1部)
 - (3) 業務完了報告書(以下のものを含む)(1部)
 - ・ F/U計画協力(案)(和文)
 - ・ 入札関連書類(案)(輸送情報シート、機材総合情報シート、仕様書案、参考銘柄情報シート、銘柄指定理由書、機材設置先/用途チェックリスト等)(和文)
 - ・ **積算資料**
- 体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します(見積

書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

(2) 一般管理費等の上限加算

ブルンジに関する業務については、その劣悪な治安状況に鑑み、一般管理費率の基準(上限)を10%加算します。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2014年3月16日～4月5日を予定しています。

当機構の調査団員は本業務従事者から約2週間遅れて現地調査を開始し、本業務従事者と同時に現地調査を終える予定です。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括 (JICA)
- イ) 計画管理 (JICA)
- ウ) 機材管理計画／積算 (本業務従事者)
- エ) 通訳 (日本語－フランス語)

③ 便宜供与内容

当機構ケニア事務所／ブルンジフィールドオフィスによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上
あり (日本語－フランス語)
- オ) 現地日程のアレンジ
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が、当機構図書館のウェブサイト

(<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

・「ブルンジ共和国・ブジュンブラ市内医療設備整備計画基本設計調査報告書」

(3) その他

業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上